

姫川水系姫川圏域河川整備計画(長野県管理区間)(原案)に対して学識経験者から頂いた意見及び県の考え方について

No.	原案該当箇所				学識経験者	ご意見	県の考え方
	章	節	項	頁			
1	第4章 連携等に関する 事項	第2節 対象圏域の概要		P30	片山氏	支川の上流域は治山による対策をしている箇所もあるため、治山との連携についても追記してはどうか。	文言を追記しました。 「砂防・治山事業に関する各種計画等と適宜調整しながら、効果的な河川管理に努めていきます。」
2	第3章 河川整備計画 の実施に関する 事項	第2節 河川の維持の目的	第2項(1)	P25	松岡名誉教授	草刈り等の活動は地元の高齢化により継続が難しくなっている地区もあると聞いている。維持管理活動について、継続的な実施のための対応について検討いただきたい	今後検討してまいります。
3					松岡名誉教授	姫川では平成7年に大きな災害が発生しているが、時間の経過とともに災害を知らない世代が増えてくることが予想される。災害の経験を風化させないため、特に若い世代を対象とした工事の現場見学会の開催を検討いただきたい。	土砂災害については、毎年、姫川砂防事務所が白馬村及び小谷村の小学校に対して、模型等を用いた学習会を開催しています。災害の経験を風化させないよう、引き続き、このような取組を継続してまいります。
4	第1章 対象圏域と河川 の現状	第2節 圏域内の河 川の現状と課題	第1項 治水に関する現状と 課題	P12	豊田准教授	河床低下が著しいとあるが、どの程度河床低下しているのか。	定量的な回答はできませんが、平成7年の災害(県境付近)で施工した帯工の天端より現況河床が低い箇所が確認されており、少なくとも平成7年からは帯工が露出している分の河床低下が生じていると認識しています。
5	第4章 連携等に関する 事項			P30	豊田准教授	水系単位に総合土砂管理計画の策定を進めていると聞いている。姫川は上流からの土砂供給不足による河床低下がみられるとなっているため、基本方針に上記計画との調整を図る等の一文を加えてはどうか。	基本方針は、国土交通省で策定していません。また、総合土砂管理計画は、現時点では姫川水系で策定されていません。ご指摘のとおり、上流からの土砂供給不足は課題であることから、県の河川整備計画(原案)において、以下のとおり文言を追記しました。 「総合的な土砂管理に関し、国土交通省等の関係機関と連携し、情報共有を図ります。また、砂防・治山事業に関する各種計画等と適宜調整しながら、効果的な河川管理に努めていきます。」